

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	欧州安全保障協力機構軍備管理・軍縮会合(OSCE)拠出金(任意拠出金)			担当部局庁	欧州局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成8年度開始			担当課室	政策課			課長 倉光 秀彰	
会計区分	一般会計			施策名	Ⅶ-1 国際機関等を通じた政務及び安全保障分野に係る国際貢献				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項			関係する計画、通知等	OSCE事務総長からの要請				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ロシアを含む世界最大の地域安全保障機構であるOSCEは、56か国の加盟国と12か国のパートナー国を有し、政治・軍事、経済・環境及び人権・民主主義等、包括的な観点から安全保障問題に取り組んでいる。我が国を取り巻く安全保障環境等をOSCEを通じて発信し、かつ国際的な安全保障環境を改善するため、我が国が可能な手段でOSCEへの影響力を強化する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	OSCEは、冷戦終焉後、「包括的安全保障」の考え方の下、特に民主主義と法の支配の確立が、地域の安全保障上も不可欠であるとの観点から、政治・軍事面のみならず、経済や人権など、幅広い分野で地域の安定、民主化推進のために多くのプロジェクトを実施し、数多くの実績を有し、国際社会においても高く評価されている。我が国も、OSCEをツールとして利用することにより、分野的にも地域的にも幅広くある案件の中から適切なプロジェクトを選択して、財政的支援を主体としつつ、我が国の政策に合致し、かつ費用対効果の高い支援を実施している。								
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☒ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	1	1	0.9	0.8	0.7		
		補正予算	446	-	-	-			
		繰越し等	-	-	-	-			
		計	447	1	0.9	0.8	0.7		
	執行額		447	1	0.9				
	執行率(%)		100%	100%	99.9%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	【成果目標】 ①平成20年度当初:「クリーン開発メカニズム」キャパビル、②平成20年度補正:アフガニスタン国境管理、③平成21年度当初及び④平成22年度当初:憲法・選挙改革支援(メディア・キャンペーン)			成果実績		①10、②5	③5	④4	※
	【成果実績】 ①平成20年度当初:派遣された専門家数、②平成20年度補正:プロジェクト数、③平成21年度当初及び④平成22年度当初:放映されたテレビ番組数 ※平成23年度については、具体的にいかなる案件に拠出するか検討中。			達成度	%	①100%、②100%	③100%	④100%	
	活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	OSCEへの拠出			活動実績 (当初見込み)	件	2	1	1	※ () ()
単位当たり コスト				算出根拠					
平成23 (単位:千円 予算内訳)	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	事業費		809	653	拠出額減額				
	計		809	653					

事業所管部局による点検			
	評価	項 目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	国際機関への拠出であり、他の組織に委任はできない。OSCEを通じた支援により、政治・軍事面のみならず、経済・環境や人権・民主主義といった幅広い活動分野及び地域に支援が可能。また、拠出により我が国のOSCEへの関与に対する各国の認識を高め、もって我が国の外交政策実現に寄与。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	OSCEを通じた支援により、幅広い分野及び地域への支援が可能。拠出により、56か国の加盟国と12か国のパートナー国に対して我が国のビジビリティを高めることができるとともに、世界最大の安全保障機構であるOSCEに対する影響力を確保することができる。さらには、被支援国との2国間の関係でも良好な関係を構築することが可能であり、本拠出金の意義は大。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	OSCEの活動分野は幅広く、OSCEの拠出金を通じて支援できる分野及び国(地域)も比較的幅広い。支援にあたっては、拠出金による支援そのものによる効果及びOSCEにおける我が国の関与をより効果的にする拠出案件を選定するよう今後とも引き続き留意する。		
	予算監視・効率化チームの所見		
抜本的改善		拠出額減額	
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
縮減(拠出額減額)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			